

2017-2018

# Weekly Bulletin of KAKOGAWA CHUO R.C.

● R.I.会長 / イアン・H.S.ライズリー ● 地区ガバナー / 瀧川 好庸  
● 会長 / 大西 淳滋郎 ● 幹事 / 井上 孝明 ● クラブ会報委員長 / 宮本 鹿司夫  
● 事務局 / 〒675-0064 加古川市加古川町溝之口 800 番地 加古川商工会議所会 5F  
TEL 079-421-5152 FAX 079-421-5559 E-mail info@kakogawa-chuo-rotary.club



ロータリー:  
変化をもたらす

第 2124 号

平成30年 4月 19日 (木) No 36

ゲスト卓話: RYLA 学友副会長 阪本 龍太郎氏



★ 会長挨拶



★ RYLA 学友副会長 阪本 龍太郎氏



## 会長あいさつ

大西 淳滋郎

皆さん、こんにちは。本日は RYLA 学友会副会長・阪本龍太郎様 代表幹事・石田真崇様にお越し頂いております。ご指導の程、宜しくお願い致します。

本日は、本年度の職業奉仕委員会でも取り上げられております。『武士道』についてお話し致します。武士道は『葉隠』に書かれている『武士道は死ぬことと見つけたり』と間違われます。『葉隠』も死んでしまうことではなく、覚悟を決めるという意味でこの言葉を使っております。今回取り上げる『武士道』は新渡戸稲造の『武士道』です。武士道については、会長の時間の1回では話せませんので、数回の会長の時間を使いましてお話し致します。

新渡戸稲造は小さいときから「太平洋のかけ橋になりたい」という夢を持って、その夢を実現させるために努力し、明治時代後半から第二次世界大戦の前にかけて活躍した人物です。国際連盟事務次長などを歴任した教育家であり、新生日本の代表者として活躍した人物です。彼を語るうえでは国際連盟事務次長というよりも、「日本人の精神・道徳観を世界に発信し続けた人物だった」と言った方がしっくりきます。新渡戸が『武士道』を刊行することになった動機については、彼の本『武士道』の序文にこう書かれています。1889年頃、ベルギーの法学者・ラヴレー氏に“あなたがたの学校には宗教教育というものがないのですか？”と尋ねられ、ないと答えると“宗教なしで、いったいどのようにして国民に道徳教育を授けるのですか？”と繰り返された。実は、外国人から見ると当時の日本人には庶民にまでも道徳観やルールを感じられていたのです。新渡戸はその問いの答えを考え抜き、約10年後に「武士道という道徳教育」に行き着いたのです。新渡戸の「武士道」の本には、日本人の道徳観・日本人の持つルールについて外国人でもわかるように丁寧に描かれています。

では、そもそも侍とは何者なのでしょう？侍は平安貴族の身辺警護を担当し、戦うために作られた者達です。平安貴族に従う者、「さぶろうもの」から「さぶらい」となり、「侍」という身分が生まれました。侍達が戦い合う中で道徳心も生まれて来ました。それが『武士道』です。戦い合う中でも美しくありたいと考えたのです。彼らがお仕える平安貴族の美の基準は、「あわれ」「もののあわれ」でした。それに対抗して、美の基準を考えました。平安貴族に対抗して出来た侍の美の基準は「あっぱれ」なのです。

「あっぱれ」という美の基準が武士道の推進力になったのです。新渡戸はこの「あっぱれ」をどう表現したのか？それは、「小さな子供心である。」としています。それは小さな子はいじめない。強いものからは逃げ出さない。ここに「あっぱれ」の種があるととしています。この説は司馬遼太郎さんの著書も参考にさせて頂きました。

新渡戸が「武士道」を刊行したのはちょうど1900年です。この年は日清戦争と日露戦争の間、日英同盟締結の2年前、日本という新興国が世界の絵舞台に現れ、海外にその名を馳せた時期でした。世界中が突如現れた得体の知れない日本と日本人に対して「一体何者だ？」と「？」を持っていた時代に、新渡戸は「日本人とは何か」ということを『武士道』というタイトルの本にまとめ、一気に世界的ベストセラーになりました。感銘を受けたアメリカのセオドア・ルーズベルト大統領は子供たちに『武士道』を読むように薦めたほどです。新渡戸の『武士道』は言うまでもなく、武士道に象徴される日本人の生き方と考え方を紹介しています。新渡戸は『武士道』を次のように例えております。『私達は気付いていないが、私達の頭上には昼間の月の様に武士道が輝いている。』と表現しております。私達には見えないけれど昼間の月が私達を見ている様に武士道の道徳観を表現しております。その中でも特に大事なものは、義と勇であり、周りに流されずに正義を守る勇気を持つ者こそが、人として正しいのだと記しています。論語にも、「義を見てせざるは勇無きなり」とあります。また、仁は「他人に対する親愛の情、優しさ」を意味しており、ポール・ハリスの語った寛容 Tolerantion を思い起こさせます。(惻隱の心、仁の端なり)

『武士道』とは、人が人として美しく生きる姿勢にあり、見せかけだけのパフォーマンスではないのです。これからの企業の人財教育に必要な軸になると思っております。今回はお時間となりました。次週に続けます。 会長の時間を終わります。